

8・6ロシマと平和のタベ

平尾直政さんの講演要旨

原爆小頭症とは

原爆傷害調査委員会 (ABCC) は、1946年から被爆者の調査をはじめてきた。原爆小頭症の子どもの存在を無視してきたのだ。

岡田佳一さんの場合

この年、当事者の親たちは「きのこ会」を結成。その趣意書には「原爆のきのこ雲のもとで生まれた小さな命ではあるけれども、木は育つてほしい」という親たちの願いが込められていた。「きのこ会」は、原爆小頭症の患者を支援する会として活動している。岡田佳一さんは、広島平和記念資料館で原爆小頭症の当事者として紹介されている。広島での生活はうまくいかなかった。一家は母親の実家(宮崎県)に移って、生計をいとなんできた。佳一さんの知的能力は幼稚園程度で、きびしい差別をうけてきた。1992年に父親が亡くなった時、その事実も信子ちゃんに伝えられなかった。当然、父親の葬儀にも呼ばれなかった。のちに、父親が骨になったことを知った時、信子ちゃん泣き叫んで島じゅうを走りまわった。

非人間的兵器としての原爆

原爆は破壊力が大きいという点だけではなく、放射線被爆による原爆症の苦しみを人間に体で埋め込む。この点で、核兵器は非人間的兵器なのだ。核は廃絶するしかない。「燈籠無尽」という仏教用語がある。灯籠のろうそくが消えかけても、新しくろうそくを受けついでいけば、灯籠の灯は消えることがない、こういう意味だ。私がこのろうそくになろうと、決めては泣き叫んで島じゅうを走りまわった。

信子ちゃんの場合

信子ちゃんは、生まれる前から右親指がなかった。母親はこのことをひた隠しにしてきた。信子ちゃんの知的能力は7歳程度。母親との2人の姉は、信子ちゃんが4歳の時に山梨県に移住している。兄と信子ちゃん、瀬戸内海の小さな島で、父親とともに生活をする。兄は中学校を卒業すると同時に、父親のもとを離れていった。その後、親に原爆症の苦しみを人間に体で埋め込む。この点で、核兵器は非人間的兵器なのだ。核は廃絶するしかない。

の存在を明らかにしざるをえなかった。このように、原爆小頭症が社会的に明らかになるのは、被爆から20年もたつてからだった。社会は、原爆小頭症の存在を無視してきたのだ。

た。信子ちゃんの知的能力は7歳程度。母親との2人の姉は、信子ちゃんが4歳の時に山梨県に移住している。兄と信子ちゃん、瀬戸内海の小さな島で、父親とともに生活をする。兄は中学校を卒業すると同時に、父親のもとを離れていった。その後、親に原爆症の苦しみを人間に体で埋め込む。この点で、核兵器は非人間的兵器なのだ。核は廃絶するしかない。

はおこなわれなかった。兄は信子ちゃんとの存在を隠していたために、誰にも知らせなかったのだ。

22年6月の東京杉並区長選で選対本部長をつとめた内田聖子さんの講演会が7月2日、兵庫県尼崎市で開かれた。主催は、つじ恵政治経研究所。

その際、7月30日に岸本区政1周年集会在ひらかれると聞き、お礼もかねて1周年集會に参加した。

7月30日、事前に街宣があるというJR中央線荻窪駅に着くと、岸本区長と市民20人ほどが街宣中。駅前杉並らしさを最も残した地域ということなのだろう。

集會は冒頭岸本聡子区長のバンド演奏から。20年以上オランダ谷なども同じで、快速などに住んでいてロックと名乗る並行する模様。区政報告は、ひとまず型通り。みんなで作ったとはいえず、公約が1年で実現できるはずもなく、「成果と課題」はなぜか区西端の「西荻窪」。それも

それを新自由主義的手法で破壊したのが田中前区長。争点の一つが公共施設の統廃合、とりわけ全小学校区にあった児童館や、高齢者施設の廃止。この見直しをきっかけ選挙戦を闘った。しかし、当選してもすでに執行中の



荻窪駅前での対話行動

題を20分ほど述べた。重要だったのは5人のパネリスト、司会・内田さん、岸本区長答弁のシンポジウム。冒頭杉並の町並みは数十年前から変わらないと書いたが、その間住民主導の町づくりがおこなわれてきたと思うが、

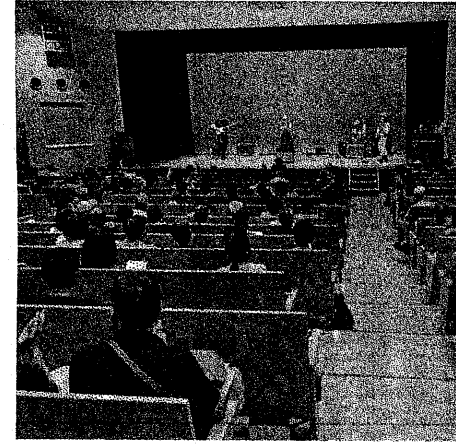
前行政を中断できず、一部廃止という苦渋の選択・公約違反。このノリノリの手拍子で呼ぶ。翌日会った杉並区議商店街などには岸本区長をよく思わない人もいて、石原伸晃(元自民党幹事長)らと一体の反動が心配も。確かに、隣市に「スタジオリ」があり、岸本・内田とも(今年当選のその区議も)杉並には関連する個人業者・作家・声優が多数いるという。気候変動会議の設置と施策、べたの民主主義実践の移行、町の緑の維持も含めて、地域住民が区長と一体となっていないか。

わが尼崎も人口は杉並区より10万ほど少ないが市域はほぼ同じ広さ。南北の地面の高低差は大きく(自転車が不便)。元衆議院議員、都議、区議ともには、京都からビデオで岡野八代同志社大教授が「ケアワークの重要さ」。舞台には、1年前まで東京でプロのキックボクサーという瑞慶覧朝風・沖繩南城市議が。祖父・父と続く沖繩民権の先頭に立つ人脈だ。内田さんのまとめ、「お願い」で綴帳が上がりだが、再び綴帳が上りニッカポッカ・工事用ヘルメットの区長らバンド演奏がオーピングより激しく展開した。次に投稿したい。(久保井拓三)

地域主権の実践を始めた東京・杉並区 地べたの民主主義が、自公・維新破る

2022年6月の東京杉並区長選で選対本部長をつとめた内田聖子さんの講演会が7月2日、兵庫県尼崎市で開かれた。主催は、つじ恵政治経研究所。その際、7月30日に岸本区政1周年集会在ひらかれると聞き、お礼もかねて1周年集會に参加した。7月30日、事前に街宣があるというJR中央線荻窪駅に着くと、岸本区長と市民20人ほどが街宣中。駅前杉並らしさを最も残した地域ということなのだろう。集會は冒頭岸本聡子区長のバンド演奏から。20年以上オランダ谷なども同じで、快速などに住んでいてロックと名乗る並行する模様。区政報告は、ひとまず型通り。みんなで作ったとはいえず、公約が1年で実現できるはずもなく、「成果と課題」はなぜか区西端の「西荻窪」。それもそれを新自由主義的手法で破壊したのが田中前区長。争点の一つが公共施設の統廃合、とりわけ全小学校区にあった児童館や、高齢者施設の廃止。この見直しをきっかけ選挙戦を闘った。しかし、当選してもすでに執行中の

1965年、『この世界の片隅で』(岩波新書)のなかで、秋信利彦さんが原爆小頭症



岸本区長と仲間たちのバンド演奏で始まった区政1周年集會 (7月30日 東京・杉並)

それを新自由主義的手法で破壊したのが田中前区長。争点の一つが公共施設の統廃合、とりわけ全小学校区にあった児童館や、高齢者施設の廃止。この見直しをきっかけ選挙戦を闘った。しかし、当選してもすでに執行中の

それを新自由主義的手法で破壊したのが田中前区長。争点の一つが公共施設の統廃合、とりわけ全小学校区にあった児童館や、高齢者施設の廃止。この見直しをきっかけ選挙戦を闘った。しかし、当選してもすでに執行中の

放射能汚染水海洋投棄弾効 敷地内に長期貯蔵すればよい

堀井 健二



汚染水海洋投棄を弾効し、ヨドバシ前に150人が集った(8月24日 大阪)

東電や政府は、事故う。

収束作業のためにタンク敷地を新たな設備の用地として空ける必要があるとして、8月24日「処理水」の海洋投棄を始めた。最初となる今回の投棄は、7800トンの「処理水」を海水で薄めた上で17日間の予定で連続しておこなうとしている。今年度全体の投棄量はタンクおよそ30基分の3万1200トンと見られる。海洋投棄期間は30年程度に及ぶと見られる。

管場所がなくなりつつあるというのだ。

福島第一原発のサイロでは、燃料デブリの冷却水と原子炉建屋およびタービン建屋内に残った汚染水を、多核種除去装置(ALPS)で処理し、タンクに貯蔵している。その量は、134万立方メートル(2023年7月現在)の「汚染水」そのものだ。

第1章 トリチウムの危険性

トリチウムは水素の同位体で、三重水素とも呼ばれる化学的性質は普通の水素と同一だが、β線を放出する放射性物質だ。半減期は12.3年。トリチウムは天然にも宇宙線と大気の反応によりごく微量に存在し、雨水やその他天然水の中にも入っているが、戦後の大気中核実験や原発稼働によって自然界のトリチウム量は急増している。ALPSでは、トリチウムは取り除けないが、62もの放射性核種を基準値以下にすることにしている。2018年8月に開かれた説明会では、ALPSで処理したトリチウムはトリチウム以外の放射性核種を多核種除去設備で除去しているが、トリチウムは含まれていないと説明していた。ALPSで処理したトリチウムはトリチウム以外の放射性核種を多核種除去設備で除去しているが、トリチウムは含まれていないと説明していた。

以下この論究では以下の4点にわたって検討したい。どの観点からも福島第一原発汚染水の海洋投棄は許されないことが明らかになるだろう。(1)トリチウムの危険性 (2)通常運転の排水 (3)トリチウム除去方法 (4)処理できない汚染水

トリチウムは水素の同位体で、三重水素とも呼ばれる化学的性質は普通の水素と同一だが、β線を放出する放射性物質だ。半減期は12.3年。トリチウムは天然にも宇宙線と大気の反応によりごく微量に存在し、雨水やその他天然水の中にも入っているが、戦後の大気中核実験や原発稼働によって自然界のトリチウム量は急増している。ALPSでは、トリチウムは取り除けないが、62もの放射性核種を基準値以下にすることにしている。2018年8月に開かれた説明会では、ALPSで処理したトリチウムはトリチウム以外の放射性核種を多核種除去設備で除去しているが、トリチウムは含まれていないと説明していた。

政府、電力会社は「原発は密閉されているから放射能は外に出ない」と言ってきたが、トリチウムは垂れ流してきたのだ。

第2章 通常運転の排水と「福一」汚染水は根本的に違う

(1)通常運転している原発から放出される放射性核種が検出限界値をこえて発見された。排出された福島原発から12の核種は除去できていない。ALPSでも処理できない核種のうち、11核種は通常の原因で発生する。制御棒が健全であれば大部分は燃料棒内に留まる。一部は燃料棒の外面を覆う被覆管を透過して炉水中に漏れ出す。

現在、タンクに貯められている水の約7割については、政府、東電の発表ですらトリチウム以外の放射性物質も基準を超えて残留しているため、とうてい「処理水」とは言えない。(2)原発とトリチウム

通常運転中のトリチウム発生場所と発生メカニズムは以下のよう説明される

①燃料棒内：燃料棒が健全であれば大部分は燃料棒内に留まる。一部は燃料棒の外面を覆う被覆管を透過して炉水中に漏れ出す。

②BWRでは、制御棒が健全であれば制御棒が健全であれば制御棒内に留まる。

③PWRでは、一次冷却材内で反応度制御用

(5面へ)

(1面からの続き)
て、鋭く暴露批判した。以下紹介する。

規制基準の根拠

政府は「汚染水を希釈してトリチウム濃度を基準値以下にして放出するから安全」と言っている。そもそも基準値とはどのような根拠で決まったのか。

トリチウム以外にも

さらに東電や政府は、ALPSで処理した汚染水はトリチウム以外の放射性物質を含まないかのどこぞで宣伝しているが、無視できない濃度の放射性物質を放出し、9月11日に東京・国会議事堂に到着する1600キロに

沿道から声援が

京都駅前を出発したデモ隊は、東本願寺を通過し、四条烏丸あたりになると歩道は人で埋め尽くされ、四条通り、河原町通りと進むなかで、李さんの呼びかけ(通訳が復唱)に多くの観光客、市民が応え、デモと通行する市民の一体感が感じられた。放射能汚染水は、非常に心配が高いことが感じられるデモ行進だった。

李元栄さんが日韓市民徒步行進

この集会準備過程で、ソウルから来る放射能汚染水(処理水)放流中止 日韓市民徒步行進が京都を通過することを知り、この行進と合流することになった。

IAEAのお墨付き?

政府と東電は「国際機関・IAEAがお墨付きを与えたら、海洋放出は安全」と言い出した。しかし、IAEAは原発マネーで運営されている原発推進機関だ。グロッシ事務局長は「IAEAの報告書は処理水の海洋放出計画を認めるものではなく、最終決定は日本政府がくだすもの」とし、IAEAは、「海洋放出を推奨、支持するものではない」と訴

李元栄さんは、当日

午前中に大阪府高槻市に到着しており、この日の徒步行進はそのまま、夕方、京都に向かい、上記デモに合流した。

李さんは、集会でも、

デモでも「韓国と日本の市民の力で放射能汚染水の放流を止めよう」と熱く訴えた。

日本政府は人類に謝罪し、放流中断を

李さんは、「日本政府は人類に謝罪し、放流を直ちに中断しなければなりません」と訴

え、今回の徒步行進を

始めるにあたり「なぜ無理やり海に捨てるのかわかりません。いくら希釈しても放射能の絶対量はそのままです。海の生態系が破壊されます。日本政府は多くの生命を故意に破壊するのを止めねばなりません。人類自滅のデモは中止しなければなりません。韓国は日本市民たちが歩いてこれに目覚めさせ放流を止めようと思いません。共に歩けば成し遂げられます」と宣言しスタートした。

4面からの続き

(T-O-H)と通常の水(H-O-H)が区別出来ない。その結果、BWRでは原子炉内で年間2兆ベクレル、PWRでは87兆ベクレルのトリチウムが生成されるが、その殆どを薄めて流す。トリチウムの放出基準は事実上存在しない。

3章 トリチウム除去方法

「多核種除去設備等」の濃度のトリチウムを含む排水を、2007年10月2日には585立方メートル、同年11月17日には586立方メートルを海洋へ放出した。この値は東電放出協定の約11万倍に相当する。日本原燃の再処理事業所再処理の再処理申請書によると六ヶ所再処理工場から海洋へのトリチウム

日韓徒步行進 8月10日〜11日

西宮→尼崎→大阪を踏破
汚染水海洋投棄反対 関↓大阪↓東京・国会議事堂まで徒步行進を行う李元栄さんの闘い。8月初旬に兵庫県入りし、8月10日は西宮、11日はJR尼崎まで、11日はJR大阪駅前ヨドバシカメラ前まで歩いた。この1人

決起に鼓舞され並走する人々と、出迎え集会、交流会も開かれた。

10日は16時JR西宮出発ながら日差しは暑い。それでも15人が国道2号線から尼崎へ。11日は早朝7時JR尼崎から神崎大橋を越え大阪梅田ヨドバシ前まで。こちらも猛暑の中、途中退出組を含め15人。それにしても李さんの健脚・執念には圧倒された。9月11日東京着まで健脚を折りたい。(Q)

尼崎で狭山行動始まる

8月23日、JR尼崎駅北梅川像前で尼崎狭山山大行動集会(大阪)。1300人の集いに尼崎・阪神間から15人が参加しており、それぞれ声掛けあって「尼崎でもやろう」となった。事前打ち合わせ、23日行動、26日の第1回実行委で「狭山事件の再審を求める尼崎市民の会」の発足と

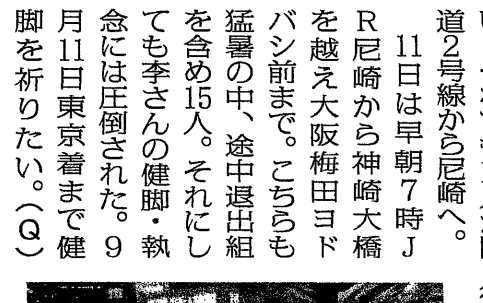
23日の街宣では「熊本の会のリーフや、部落解放同盟兵庫県連のパネル、独自で作ったラミネートの横断幕が所狭しと並べられ、その中で署名とマイクアピール。嬉しいことに茨木から団扇の差し入れ。まさに超党派の市民運動だ。「動かせ狭山、動かせ狭山」を合言葉に、10・31、11月三者協議に向け、尼崎でも運動の広がりを。(H)



デモ終了の京都市役所前(8月13日)



出発にあたり決意表明する李さん(8月10日 西宮)



9人がかわるがわる訴えた(8月23日)

長期・読み切り連載

先人たちの闘いの成功と失敗を学び現在に生かそう

大庭伸介

在日朝鮮人労働者が奮闘 劣悪な環境、差別と虐待に抗して

以前シン・ギス(辛 満洲(中国東北部)に渡るか、玄界灘を越えて日本に渡航して流亡するしかなかった。運動に参加し、試写会も含めて3回観た。1945年8月15日(光復)の瞬間、ソウルの広場で大勢が抱き合い歓喜するシーン

は、いま思い出しても感激する。と同時に、日本人の一人として率直に喜ばない気持ちに

1910年、「韓国併合」で日本の朝鮮植民地支配が始まった。その2年前に設立された東洋拓殖株式会社(東拓)は、詐欺的手段で朝鮮人から土地を略奪した。東拓は日本人にしか株式所有を認めず、筆頭株主は皇室であった。

当時朝鮮人のほとんどが農民で、土地を失って生活の途を完全に絶たれた。ソウルなどの都会に出て職を求め、働く工場がなかった。彼らは止むな

故や災害で多くの死傷者を出したが、補償金も支払われず遺体や遺骨は放置された。炭鉱や土木労働の監獄(たこ)部屋ではリソチが日常化し、死に至るケースも珍しくなかった。

タン板で掘って立て小屋を作って雨露をしのぐ。1930年の大阪市東成区の朝鮮人密集地区では、1人当たり平均畳数が何と0.55畳という官庁統計がある。

強制連行以後は逃亡を恐れて、賃金の大部分が強制貯金として差引かれた。炭鉱や金属鉱山、工場などでは事

1925年2月、東京、京都、大阪、兵庫の11の朝鮮人労働者に、賃下げ反対、賃上げ要求を貫徹し、譲歩妥協を第一義とした。

1928年、プロフィンテルン(赤色労働組合インターナショナル)第4回大会で、この年、朝鮮人労働者の争議は465件で、前年の29件から飛躍的

組合に加入して闘うべきだとする方針が採択された。そして朝鮮労働者を日本労働組合全国協議会(全協)に合流させる

1928年、プロフィンテルン(赤色労働組合インターナショナル)第4回大会で、この年、朝鮮人労働者の争議は465件で、前年の29件から飛躍的

1928年、プロフィンテルン(赤色労働組合インターナショナル)第4回大会で、この年、朝鮮人労働者の争議は465件で、前年の29件から飛躍的

1928年、プロフィンテルン(赤色労働組合インターナショナル)第4回大会で、この年、朝鮮人労働者の争議は465件で、前年の29件から飛躍的

1928年、プロフィンテルン(赤色労働組合インターナショナル)第4回大会で、この年、朝鮮人労働者の争議は465件で、前年の29件から飛躍的

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所



朴慶植「在日朝鮮人運動史」

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

1928年3月の大阪・塩山洋傘工場、また同じころ広島鉄工所

